

# 仏教 海外開教史 資料集成

ハワイ編 全六卷

近代以降、多くの日本人が海外へと渡航していった。

出稼ぎ、移民、そして侵略——世界各地、日本人の赴くところには、

必ず仏教伝道の志を懐いた開教師(使)たちがいた。

彼らは、ときに在外邦人の心の灯火となり、外国伝道の拠点を築き、

海外進出の出先機関としての役割を果たしてきた。

本資料集成は、ハワイにおける膨大な仏教開教の記録であるが、引き続き

北米・南米やアジア諸国の資料も復刻刊行する。

仏教教団の海外開教の現状と歴史を検討するための、必要不可欠な資料集である。

体裁——A5判・上製本・総三、二六四頁

解説——中西直樹(筑紫女学園大学准教授)

第一回配本二〇〇七年十月

【第一巻〜三巻◎本体揃価格六〇、〇〇〇円＋税】

第二回配本二〇〇八年一月

【第四巻〜六巻◎本体揃価格六〇、〇〇〇円＋税】

定価——全六巻◎本体揃価格一一二〇、〇〇〇円＋税

不二出版

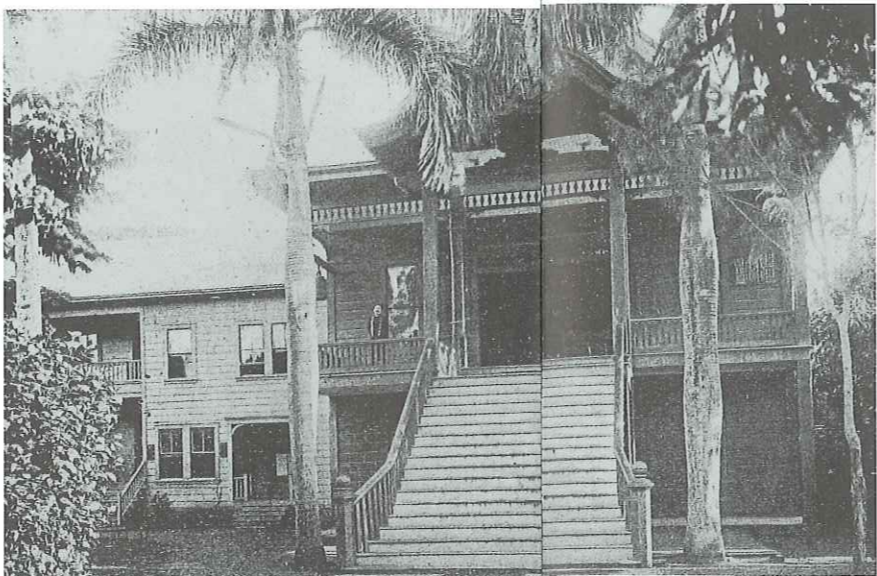
# 国境を超えた日本仏教の貴重な記録

大村英昭 (関西学院大学教授・大阪大学名誉教授)

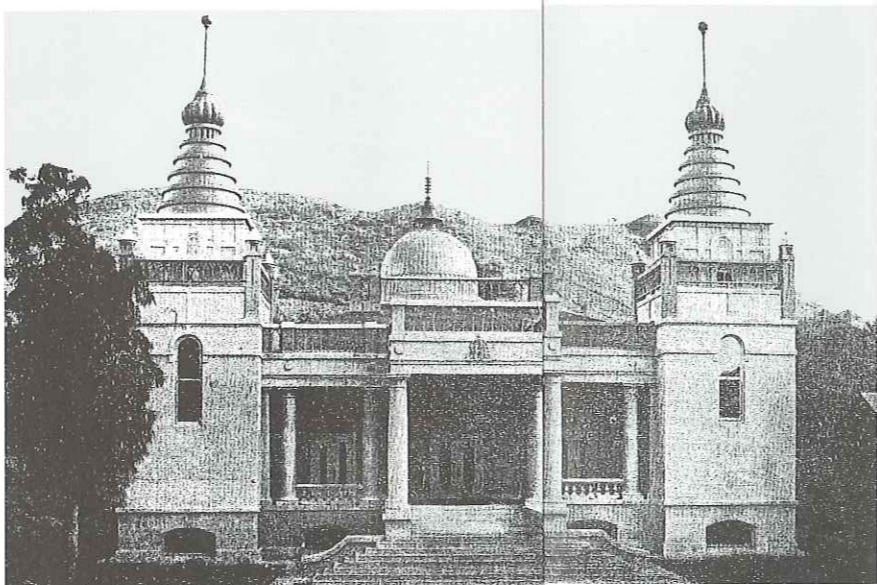
『ボーダレス』とか『グローバルゼーション』とか、政治も経済も国境を超え、ために「国家の品格」だの、「美しい国」だのと、かえって民族主義を助長するような言説も目立ちます昨今。なんと中世以来、「四海のひとはみな兄弟」と高唱してきた日本の「野の仏教」の意義は、高まりこそすれ、低くなることはありません。ことに浄土真宗は早くも十九世紀末には国境を超え、すぐれた先覚者の努力によって二〇世紀前半中にハワイや北米・西海岸部、そして南米へと多くの拠点を形成することに成功しました。

しかもそれは、一時の「満州」や台湾での開教のように国策に便乗したものではありませんでした。まさに「野の仏教」の本領発揮。貧しい異教徒としての生活を強いられたい人びとに、一筋の光明をもたらすようにして「クニノサカヒ」を超えていったのです。

今回復刻される『仏教海外開教史資料集成』には、この「野の仏教」のおかげで、かの地にあつて、やがて貧困からも、国の縛りからも脱却し堂々の国際人となつていった人たちの、ただし苦難に充ちたながい道のりがヴィヴィットに記されています。私は、たまたま二〇〇四(平成十六)年度「ハワイ開教区特派講師」として、本派本願寺派をはじめ、仏教各派の現況について触れる機会をもった者ですが、とくに日本語で通じる人たちがほとんどいなくなりつつあることに強い印象をもちました。ということ、日本仏教がまさしくグローバルライズされつつあるという意味でしょうが、それだけに、この『資料集成』は、そこに至るまでの先人のご苦勞を記録した貴重な文書であることを意味しましょう。自信を持って推薦する理由でもあります。



■上の写真は「二十年間中心道場たりし旧布哇別院」  
■下の写真は「本派本願寺布哇別院」  
■その下は『本派本願寺 布哇開教史』の表紙と目次



## 仏教海外開教史——移民史の新たなフィールド

坂口満宏 (京都女子大学教授)

シアトルの日本人移民社会を調べていた頃、しばしば本願寺派の別院に泊めてもらい、開教使の先生に誘われるまま、日曜日の礼拝にも参列させてもらった。午前の部は日本語で、午後のそれは英語でなされていた。話には聞いていたが、実際にそうした場を目の当たりにしたとき、カルチャーショックを感じた。そしてその衝撃は、移民の歴史と文化交流の意義を考へるときに確信となり、その思いは、ハワイやカナダのお寺を訪ねるたびに強くなっていった。

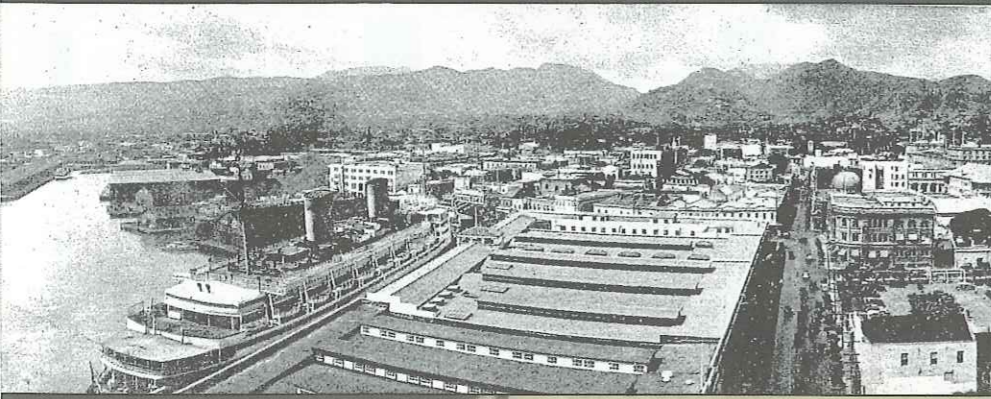
日本に帰り、海を越えた日本仏教の足跡についても調べておかななくてはと思い、一つ二つと古書の収集を始めてみたが、思いのほかその作業は進まなかった。それだけに『仏教海外開教史資料集成』の刊行は、朗報である。真宗派のみならず、浄土宗、曹洞宗、日蓮宗、真言宗など諸宗派の主要文献を一度に手にすることができるからである。

この『資料集成』の刊行を機に、「仏教東漸」という使命の実現にむけた開教使たちの苦闘も見直されていくことだろう。そして日曜学校や日本語学校の運営に果たした寺院の役割、移民社会における在家人の存在など、日本人移民研究の新たな裾が予感される。

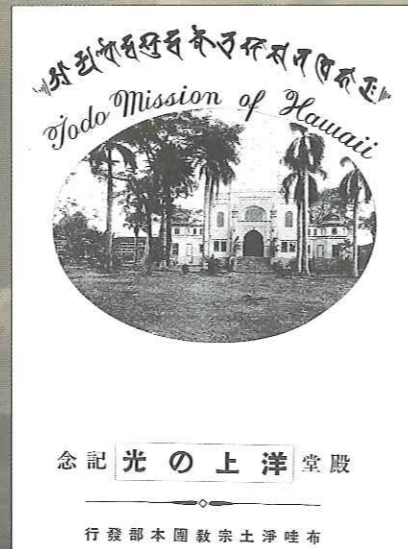
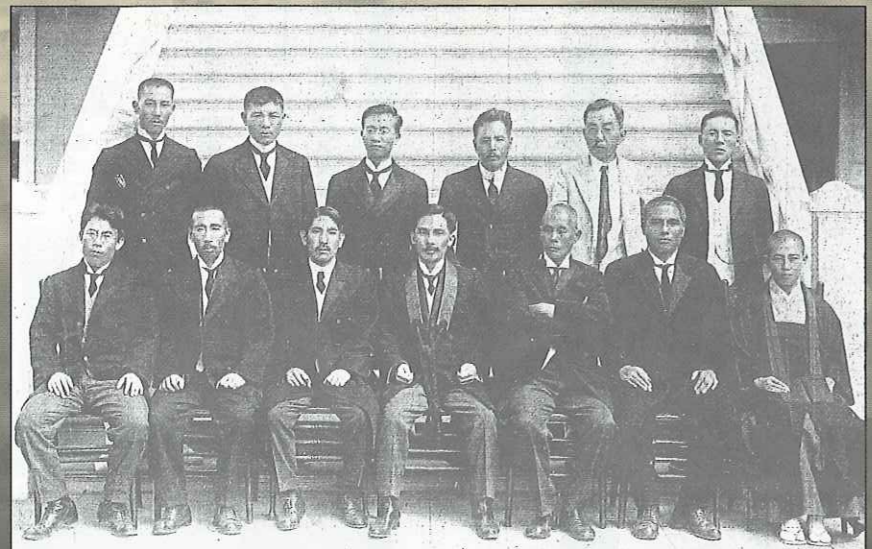
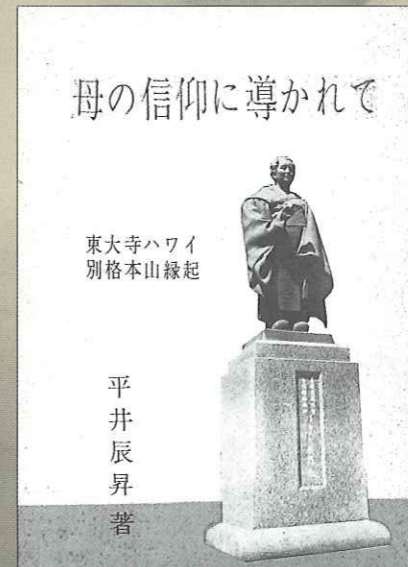
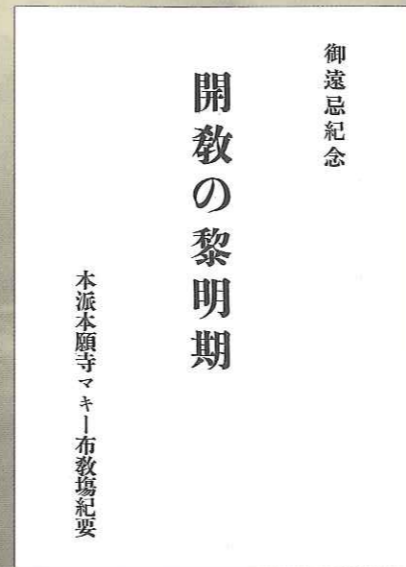
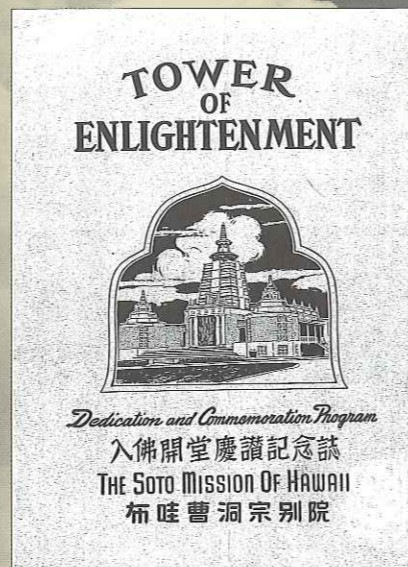
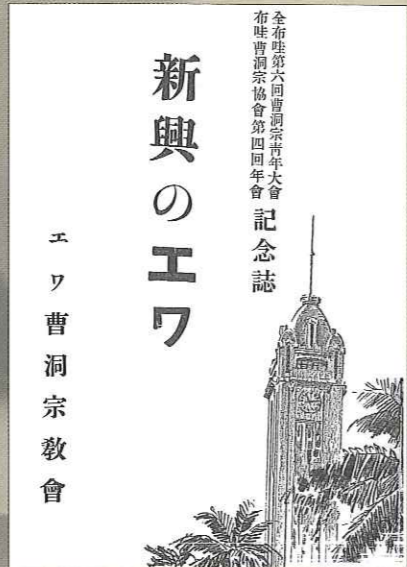
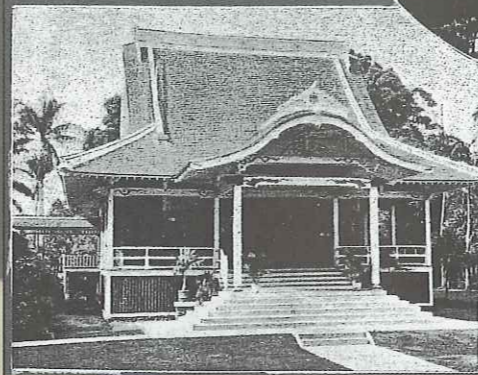
# 本派 布哇開教史

## 布哇開教史目次

第一編 總論	
第一章 布哇總説	
第一節 布哇の名稱	一
第二節 カメハメハ大王の統一	一
第三節 百力の跋扈	四
第四節 王朝滅亡の年面	一三
第五節 布哇の人口	一六
第六節 移民の三大期	一八
第七節 轉航禁止後	二二
第二章 本願寺の開教	
第一節 同胞初期の精神状態と布教	二五
第二節 開教事業の四大困難	二八
第三節 正式開教	三〇
第四節 佛教青年會の創立と外人招聘	三三
第五節 本願寺と耕地	三七
第六節 開教の二方面	四一
第七節 別院昇格	四三
第三章 本願寺の教育事業	
第一節 學校經營	四四
第二節 布哇中學校布哇高等女學校の設立	四八
第三節 學園の發展	五二
第四節 本願寺教育の大改革	五三
第五節 本願寺と市民啓蒙問題	五九
第四章 新別院の建築	
第一節 別院新築期成會	六二
第二節 開教使會議	六八
第二編 布哇別院	
第一章 總説	
第一節 位置及地勢	七二
第二節 創立及沿革	七四
一 開教の嚆矢	七四
二 開教の暗黒時代	七六
三 特派員の來布	七八
第二章 正式開教	
第一節 開教第一年	八二
第二節 開教第二年	八六
第三節 開教第三年	九一
第四節 開教第四年	九七
第五節 開教第五年	九九
第六節 開教第六年	一〇〇
第七節 開教第七年	一〇〇
第八節 開教第八年	一〇〇
第九節 開教第九年	一〇〇
第十節 開教第十年	一〇〇
第十一節 開教第十一年	一〇〇
第十二節 開教第十二年	一〇〇
第十三節 開教第十三年	一〇〇
第十四節 開教第十四年	一〇〇
第十五節 開教第十五年	一〇〇
第十六節 開教第十六年	一〇〇
第十七節 開教第十七年	一〇〇
第十八節 開教第十八年	一〇〇
第十九節 開教第十九年	一〇〇
第二十節 開教第二十年	一〇〇
第二十一節 開教第二十二年	一〇〇
第二十二節 現況	一〇〇
第三章 教學事業	
第一節 日曜學校	一〇一
第二節 布哇佛教青年會	一〇一
第三節 布哇佛教婦人會	一〇一
第四節 布哇佛教處女會	一〇一



十ア本願寺教団  
創設三十五年周年記念誌



# 浄土宗布哇開教沿革大要

〔宣教會〕時代より〔開教院〕時代まで

## 宣教會時代

明治二十七年白石堯海師、道重信  
 教師等有志の發願により、布哇宣  
 教會が組織され、同年五月松尾諦定師を派遣し布哇全島の状況を視察  
 せしむ、當時浄土二宗の財政は貧弱にして開教に要する出費の途もな  
 ければ、同志と計り憂宗の大徳に訴え献金を集め、苦しみ乍ら宣教の本  
 旨を達すべく努力されたのであるから、視察をする  
 苦しみの極みを盡されたといふことである。

次で岡部學應師を特派して布教せしめたが、同師は  
 留同胞のため布教を試み、ヒロ及ハカラウには數ヶ  
 マクワのパウハウに移り布教せしが、ハマクワ一郡  
 教會新築を決定し、同二十九年一月ハマクワ佛教會  
 法要を営むに至つたのであつた。恐らく布哇全島に  
 れた嚆矢であることを誇りとするに足るのである。  
 衍師來島し各方面の布教に努力し益々教線を擴張  
 至つたのであつた。

## 開教院時代

明治三十二年  
 かれ、布哇開教

れ、各員種々なる論議を闘はしたが、白石師は布哇宣教會組織當時の事  
 情から、同志相集りて苦しき經營と派遣者の苦心と止むに止ま教れぬ開  
 とを力説した。各員を動かす處ありて遂に提議は通過し豫算を編成さる  
 に至つてから、布哇開教區が生れ布哇布教の活路が開かれたのであつ  
 た。

# 布哇開教史

## 第一編 總論

### 第一章 布哇總說

#### 第一節 布哇の名稱

布哇群島は布哇縣 Territory of Hawaii と稱し、北緯一八度五五分より二三度に亘  
 り、西經一五四度四〇分より一六二度に及び大小十二の群島を總括す。ハワイ Ha-  
 waii ヲウイ Maui オアフ Oahu カワイ Kawai モロカイ Molokai ラナイ Lanai ニイハウ  
 Nihaui カホオラウエ Kohoolawe の八島とモロキニ Molokini マンナ Lehua カウラ Kaula  
 ニホア Nihoa の四無人島これ也。此十二島嶼の中獨りハワイを採りて總名とす  
 るに至りたるは、ハワイ島が面積に於て群島中の第一を占め、且つ全島を統一せる

第一編 總論 第一章 布哇總說 第一節 布哇の名稱

## カナダ移民史資料 全五卷

佐々木敏二編集・解説  
 A 4判・A 5判・B 6判・上製・総二、六六四頁  
 揃定価九八、〇〇〇円＋税  
 一九九五年五月刊〔復刻版〕  
 推薦||飯野正子・原口邦紘・三輪公忠

## カナダ移民史資料II 全六卷・別冊一

佐々木敏二・権並恒治編集・解説  
 別冊||全一六六の英文目次+『加奈陀と日本人』の翻訳  
 B 5判・A 5判・上製・総四、一一六頁  
 揃定価一四八、〇〇〇円＋税  
 二〇〇〇年九月刊〔復刻版〕

## 移民地事情 全一〇巻・別冊一

外務省通商局編〔大正十一年〜昭和六年刊〕  
 別冊||解説(柳田利夫)・総目次  
 A 5判・上製・総四、八一〇頁  
 揃定価一九一、〇〇〇円＋税  
 一九九九年十一月〜二〇〇〇年一二月配本完結〔復刻版〕

## 日刊海外商報 全一五巻・別冊一

外務省通商局編纂〔大正一四年〜昭和三年刊〕  
 高嶋雅明解説  
 A 4判・上製・総六、三三四頁  
 揃定価四二〇、〇〇〇円＋税  
 二〇〇五年五月〜〇六年八月配本完結〔復刻版〕  
 推薦||高嶋雅明

## 日系アメリカ文学雑誌集成 全二巻・別冊一

篠田左多江・山本岩夫編集・解説・解説  
 別冊||日系アメリカ文学雑誌研究  
 日本語雑誌を中心に  
 A 5判・B 5判・上製・総一、四二〇頁  
 揃定価三九六、〇〇〇円＋税  
 一九九七年六月〜九八年一二月配本完結〔復刻版〕  
 推薦||阪田安雄・佐々木敏二・福田陸太郎

## 海外各地在留本邦人職業別人口表 全五巻・附録一

外務省通商局編〔明治四〇年〜昭和一五年刊〕  
 解説(柳田利夫) 付き  
 B 4・B 5判・上製・総一、八〇〇頁  
 揃定価九五、〇〇〇円＋税  
 二〇〇二年一月刊〔編集復刻版〕  
 推薦||兒玉正昭・佐々木敏二

## 戦前期中国在留日本人統計 全八巻

外務省政務局ほか編〔明治四一年〜昭和一九年刊〕  
 解説(木村健二・幸野保典) 付き  
 B 5・A 5・A 4判・上製・総三、四七〇頁  
 揃定価一九〇、〇〇〇円＋税  
 二〇〇四年六月〜一二月配本完結〔編集復刻版〕  
 推薦||川島 真・高嶋雅明

## 日本移民協会報告 全二巻

日本移民協会発行〔大正三年〜大正八年刊〕  
 解説(坂口満宏)・総目次・索引付き  
 B 5判・上製・総六八〇頁  
 揃定価三六、〇〇〇円＋税  
 二〇〇六年九月刊〔復刻版〕

## 海外日本実業者の調査 全八巻

外務省通商局編〔明治三六年〜昭和一四年〕  
 解説(高嶋雅明) 付き  
 A 4判・上製・総二、四五〇頁  
 揃定価二二四、〇〇〇円＋税  
 二〇〇六年一月〜〇七年六月配本完結〔復刻版〕  
 推薦||木村健二・柳田利夫

## 日本仏教社会福祉学会年報 全八巻

日本仏教社会福祉学会機関誌  
 第一号(昭和四四年)〜第二六号(平成七年)  
 B 5・A 5判・上製・総三、四三二頁  
 揃定価二二〇、〇〇〇円＋税  
 二〇〇四年一〇月刊〔復刻版〕  
 推薦||阿部志郎・吉田久一

内容案内送呈。お申し付け下さい。

# 仏教 海外開教史 資料集成

ハワイ編 全六巻

復刻版概要

体裁 A5判・上製本・総三、二六四頁

解説 中西直樹（筑紫女学園大学准教授） 第六巻の巻頭に収録

第一回配本二〇〇七年十月

【第一巻～三巻◎本体揃価格六〇、〇〇〇円＋税】

ISBN978-4-8350-5806-1

第二回配本二〇〇八年一月

【第四巻～六巻◎本体揃価格六〇、〇〇〇円＋税】

ISBN978-4-8350-5810-8

定価 全六巻◎本体揃価格一二〇、〇〇〇円＋税

推薦 大村英昭・坂口満宏

収録内容

巻数 編著者等 『書名』 『刊行年』

第一巻 本派本願寺布哇開教教務所文書部編『布哇開教史』  
〔一九一八年〕

第二巻 曜日蒼龍著『布哇紀行』〔一九九〇年〕  
小谷徳水編『開教の黎明期』〔一九一四年〕  
本派本願寺布哇開教教務所文書部編『本派本願寺布哇開教  
三十五年紀要』〔一九三二年〕  
米布研究会編『第二世と仏教』〔一九三五年〕  
ナアレフ本願寺教団編『ナアレフ本願寺教団創設三十五周  
年記念誌』〔一九三五年〕

第三巻 今村恵猛著『米国の精神を論ず』〔一九二一年〕  
布哇ホノルル本願寺編『超勝院遺文集』〔一九三七年〕

## 第四巻

与世盛智郎・山里慈海編『布哇仏教読本（本派本願寺特別  
叢書）』（慈光園）（抄録）〔一九三九年〕  
布哇本派本願寺教団編『布哇本派本願寺教団沿革誌』  
〔一九五四年〕  
常光浩然著『布哇仏教史話——日本仏教の東漸』〔一九七  
一年〕

## 第五巻

柴田玄鳳編『浄土宗開教要覽』（浄土宗務所教学部）（抄録）  
〔一九二九年〕  
福田闌正編『洋上の光』（布哇浄土宗教団本部）（抄録）  
〔一九三四年〕  
藤花教道編『布哇浄土宗沿革概要』（布哇浄土宗別院）  
〔一九六四年〕  
鳥取密明編『真言宗布哇別院創立満十周年に際して』  
〔一九二七年〕  
加登田哲英著『布哇真言宗開教沿革——創立五十周年記念』  
〔一九六六年〕  
平井辰昇著『母の信仰に導かれて——東大寺ハワイ別格本  
山縁起』（抄録）〔一九五七年〕

解説——中西直樹著『仏教海外開教史資料集成』解説

## 第六巻

布哇曹洞宗協会編『布哇曹洞宗寺院情勢概要』〔一九四九年〕  
ワイパフ信友二葉会編『楽園の普請（大陽寺新築落成・布  
哇全島第四回曹洞宗青年大会記念誌）』〔一九四九年〕  
コナ大福寺編『珈琲の里乃誇（全布哇第五回曹洞宗青年大  
会記念誌）』〔一九五〇年〕  
エワ曹洞宗教会編『新興のエワ（全布哇第六回曹洞宗青年  
大会・布哇曹洞宗協会第四回青年会記念誌）』〔一九五一年〕  
布哇曹洞宗別院編『入仏開堂慶讃記念誌』〔一九五三年〕  
ハワイ日蓮宗別院編『ハワイ日蓮宗八〇年のあゆみ』  
〔一九八二年〕  
布哇仏教青年代表団寄贈『布哇紹介写真帖・布哇事情概観  
（第二回汎太平洋仏青大会記念）』〔一九三五年頃〕

「ハワイ編」に引き続き『仏教海外開教史資料集成』  
「北米・南米編」の復刻刊行を予定しています。

\*表示価格はすべて税別

## 不二出版

▶〒113-0023 ▶東京都文京区向丘 1-2-12  
▶TEL 03-3812-4433 ▶FAX 03-3812-4464  
▶振替 00160-2-94084